

令和2年度（第1期試験）

東北大学大学院教育学研究科博士課程

（前期課程・外国人留学生特別選抜）

入学試験問題（小論文）

注 意

- 1 試験時間は120分。
- 2 問題紙は4枚（表紙を除く）、解答紙は4枚。
- 3 設問Ⅰ（1）の解答は1枚目のマス目のある解答紙に、設問Ⅰ（2）、設問Ⅱ（1）、設問Ⅱ（2）の解答はそれぞれ2枚目以降の別の解答紙に記入すること。

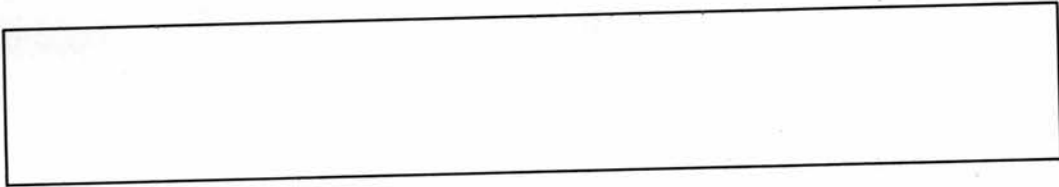
設問 I

下の文章を読んで、次の問いに答えなさい。

- (1) 筆者の主張を 200 文字以上、250 文字以内の日本語でまとめて書きなさい。
- (2) 教育へのデジタル機器の活用のメリットとデメリットに関して、あなたの考えを述べなさい。

ここに当該文献の
p.4, L.4 から p.6, L.4 まで
の部分が掲載されています。

なお、p. でページ数を表します。
L. でページ先頭からの行数を表し、
負数の場合はページ末尾からの行数を表します。



(石戸奈々子 著 『デジタル教育宣言』 角川 EPUB 選書、2014 年、4-6 頁、一部改変)

設問Ⅱ

次頁の【図】は、PISA2012年調査における、各国の移民の子どもの読解力、数学的リテラシー、問題解決能力の得点を示したものである。この図を見て次の問いに答えなさい。

- (1) 移民の子どもの読解力、数学的リテラシー、問題解決能力について、どのような傾向が見られるか、図から読み取れることを整理して論じなさい。
- (2) (1)で論じた内容を踏まえて、各国がPISAにおける得点を高めていくためには、どのような点に留意する必要があるか、論述しなさい。

※ 図中の、移民1世の子ども、移民2世の子ども、移民背景をもたない子どもの定義については、PISA調査においては下記のとおり。なお、本設問において移民の子どもとは、PISA調査における移民背景をもつ子どものことであり、下記定義による移民1世と移民2世の両方をさしている。

- ・移民1世の子ども——両親ともに外国生まれであり、自身も外国生まれの子ども。
- ・移民2世の子ども——両親ともに外国生まれであり、自身は現居住国・地域生まれの子ども。
- ・移民背景をもたない子ども——親のうち一方が現居住国・地域生まれであり、自身も現居住国・地域生まれの子ども。

※ 図の出典は、OECD編著、布川あゆみ・木下江美・斎藤里美監訳『移民の子どもと学校——統合を支える教育政策』明石書店、2017年、47頁。

【図】 移民の子どもの読解力・数学的リテラシー・問題解決能力の得点

ここに当該文献の
p.47にある図
が掲載されています。

令和2年度 (第1期試験)

東北大学大学院教育学研究科博士課程

(前期課程・一般選抜および社会人特別選抜および
外国人留学生特別選抜)

臨床心理学コース

入学試験問題 (専門科目)

注 意

1. 試験時間は120分。
2. 問題紙は1枚(表紙を除く)、解答紙は5枚。
3. 解答は所定の用紙に記すこと(設問Ⅰ～設問Ⅲの解答は各1枚の解答紙を用いて、設問Ⅳの解答は2枚の解答紙を用いて、(1)～(4)を1枚目、(5)～(8)を2枚目に記入すること)。

R2.1期 前期一般/社会人/留学生
(臨床) |

…………臨床心理学コース…………

- 【設問Ⅰ】 自殺について世代別に論じなさい。 (20点)
- 【設問Ⅱ】 養育者による子どもへの不適切な養育 (maltreatment) について、その背景要因と共に解説しなさい。 (20点)
- 【設問Ⅲ】 教育領域における心理職の役割について述べなさい。 (20点)
- 【設問Ⅳ】 以下の用語をそれぞれ5行程度で説明しなさい。 (各5点)
- (1) 児童福祉法
 - (2) PTSD
 - (3) ライフサイクル理論
 - (4) セルフ・ハンディキャッピング
 - (5) 動作法
 - (6) フォーカシング
 - (7) STAI
 - (8) 妥当性

(以下余白)